

# 議会だより



## 関東嵐山 第3回 御前山トレイルラン

11月4日(日)

秋空の下、第3回の御前山  
トレイルラン大会が開催され、  
約600人が参加しました。

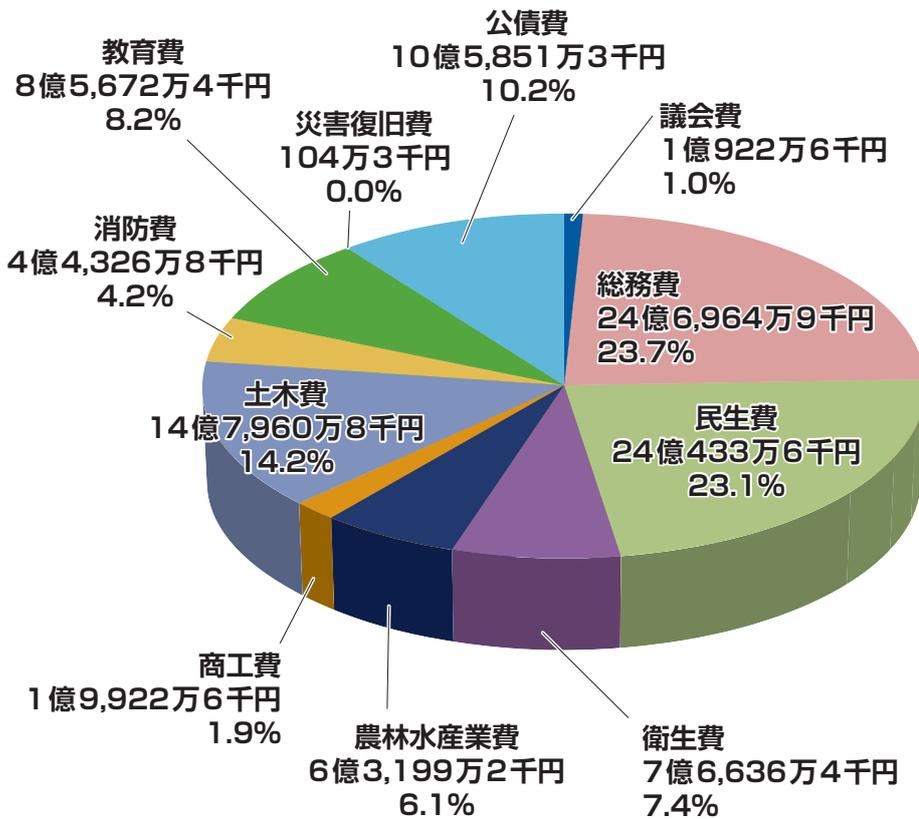
### 平成29年度決算

一般会計の使いみち	2
監査委員決算審査報告	5
決算特別委員会報告	6
第3回定例会で決まったこと	8
審議した議案と各議員の賛否	9
一般質問 町政を問う	10
調査特別委員会中間報告	16
追跡調査・編集後記	18

# 会計の使いみち

## 歳出総額

104億1,994万8千円



□ **基金残高 58億6,742万4千円**  
町民一人あたり 約294,771円

□ **町債残高 104億759万円**  
町民一人あたり 約522,863円

※ **基金**…町が将来のために備えたり、定額の資金を運用するために設けられる資金で、**町の積立預金**のことをいいます。

※ **町債**…町が事業を行うために資金を調達する一つの手段で、**町の借金**のことをいいます。

町の人口 19,905人 (平成30年3月31日現在)

## 第3回定例会

第3回定例会は、10月10日から19日の10日間の会期で開催し、上遠野町長から専決処分1件、条例改正3件・契約の締結1件・補正予算4件・決算認定7件が上程されました。上程された議案のうち、決算認定については、決算特別委員会へ付託し、常任委員会ごとに所管分を審議しました。その結果、原案のとおり可決・認定しました。

また、請願2件、陳情1件、報告12件がありました。

# 平成29年度決算 一般

## 一般会計

歳入（町に入ったお金）	108億 806万7千円
歳出（町で使ったお金）	104億1,994万8千円
歳入歳出差引額	3億8,811万9千円

主に、次のような事業に使われました。

※1万円未満切り捨て。

事業名		金額
総務費	七会町民センター整備事業（繰越）	1億 669万円
	七会町民センターサッカー場整備事業（繰越）	2億2,604万円
	七会町民センタートレーニング機器設置事業	1,387万円
民生費	臨時福祉給付金支給事業（繰越）	5,437万円
	医療福祉費（マル福）事業	9,890万円
衛生費	保健福祉センター改修工事 ※常北・七会	7,029万円
	一般廃棄物処理施設用地地質調査及び測量設計委託	1,323万円
	一般廃棄物処理施設整備基本計画策定業務委託	2,813万円
	一般廃棄物処理施設用地購入業務	1,217万円
農林水産業費	畜産クラスター協議会補助（繰越）	1億8,944万円
商工費	総合野外活動センターふれあいの里キャビン新築工事（繰越）	1,487万円
	町民半額利用券・キャンプ場利用者及び特別ご招待券のホロルの湯使用料	1,631万円
土木費	大桂大橋耐震補強工事（繰越）	3億 132万円
	新道川修正設計及び護岸改修工事	4,477万円
消防費	消防事務負担金 ※水戸市	3億6,965万円
教育費	高等学校通学費助成事業	733万円
	スクールバス運行業務 ※8台	2,785万円
	常北小学校プール解体及び駐車場整備工事事業	2,330万円
	桂中学校武道場改修工事（繰越）	1,290万円

## 平成29年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国保	事業勘定	27億4,244万4千円	26億7,739万9千円	6,504万5千円
	施設勘定	2億1,645万6千円	2億1,494万4千円	151万2千円
後期高齢者医療		1億9,701万8千円	1億9,700万円	1万8千円
介護	保険事業	21億4,807万2千円	21億1,810万9千円	2,996万3千円
	サービス事業	486万円	457万3千円	28万7千円
公共下水道事業		9億7,815万5千円	9億4,067万4千円	3,748万1千円
農業集落排水事業		2億8,373万6千円	2億7,022万4千円	1,351万2千円
水道	収益的収入・支出	7億1,178万5千円	6億4,780万円	6,398万5千円
	資本的収入・支出	1,209万3千円	4億7,763万円	△4億6,553万7千円

※不足額は消費税、消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

**用語説明** (国保事業勘定) 主に保険給付金等の事業費 (国保施設勘定) 診療所運営の事業費  
 (介護保険事業) 主に介護保険給付金等の事業費 (介護サービス事業) 要支援者ケアプラン作成事業費  
 (水道事業収益的収入・支出) 汚れた水を適切に処理するための経費とその財源です。  
 (水道事業資本的収入・支出) 施設を建設・整備するための経費とその財源です。

## 近隣町村との比較

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事である。

	財政力指数 (平成29年度決算実績)	経常収支比率(%) (平成28年度決算実績)	実質公債費比率(%) (平成28年度決算実績)
城里町	0.371	85.7	12.0
茨城町	0.568	84.8	8.4
大洗町	0.715	92.9	3.5
大子町	0.327	84.4	3.8
常陸大宮市	0.433	84.5	7.8

※「茨城県市町村概況(平成30年度版)」より抜粋

## 実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

## 財政比率

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
財政力指数	0.371	0.371	0.374
経常収支比率(%)	86.9	85.7	85.9
公債費負担比率(%)	12.7	14.7	15.7

財政力指数……「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。

経常収支比率……おおむね70%から80%が標準とされる。

公債費負担比率……比率が高いほど自由に使える財源の幅が狭まり、15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされる。

# 監査委員決算審査報告

7月30日(月)から8月2日(木)にわたり、平成29年度一般会計と各特別会計決算・企業会計決算と事業実施状況について審査を行い、その結果、次の意見(抜粋)を付しての報告がありました。

監査委員 加藤木 昭 博  
監査委員 小 林 祥 宏

- 各事業の予算については、財源確保の厳しい中、予算付けされたものであり、今後とも常に業務の執行状況・入札状況等により、決算見込みを的確に把握して、予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図り、弾力性のある行政運営を望むものである。
- 未収金対策も毎年度申し上げているところだが、引き続き各課との連携を密にし、滞納者には早期に対応し、悪質な滞納者には、「滞納は絶対に許さない」という毅然とした態度で臨み、法的措置を講ずるなど、さらに実効性のある収納対策を図り、滞納の解消、収納率の向上に引き続き努められたい。
- 財源の確保が、今後の地方自治体運営にとって重要な課題であり、助成金等の歳入が未収となって一般財源を充当しているが、今後このようなことが無いよう十分留意をし、事業執行にあたりとともに、交付税の合併算定替による縮減が開始されてから3年目に入り、今後中長期的な財政計画等により、持続性のある行政運営を図ることが切望されるものである。
- 公営企業会計は独立採算制が原則であり、収入未済額の増加は経営圧迫の要因にもなる。水道事業会計においても、収入未済額の解消に更に全力で対処するとともに、年間給水量及び年間有収量を的確に把握し、供給単価を考慮し販売損失の抑制に努め、独立採算制を基本とした適正な水道料金体系による健全な企業経営に努められたい。

# 決算特別委員会での主な 質疑・答弁

第3回定例会初日の10月10日、町長から提案された平成29年度城里町決算（7会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

## 総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の10月11日に委員会を開催し、平成29年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。審査の結果、委員会の採決は認定となりました。

### 歳入

(一般会計所管分)

**問** 町民センター使用料の内訳は。

**答** グラウンド使用料が100万円、町民センター会議室使用料が4,590円、体育館使用料が9,720円、トレーニング室使用料が2,100円です。

**問** 原子力地域振興事業費補助金の増減について。

**答** 避難区域拡大によって補助されたものです。若干減ってきています。

**問** 財産売却収入の内訳について。

**答** 旧坏小学校グラウンド敷地、舟渡団地跡地等の売却です。

**問** 生活環境整備基金繰入金とは。

**答** 七会町民センター整備事業で、施設整備300万円、トレーニング機器設置に1,100万円充てたものです。

**問** 臨時財政対策債の利息について。

**答** 地方交付税の不足分を地方が借入れして100%交付税算入されるもの

です。利息も含まれていません。

**問** 舟渡団地跡地に法人がアパートを建てる話があったがどのように進んでいるか。

**答** 現在情報が入っていないので、確認したいと思っています。

**問** ふるさと納税減収について具体的に(税収を上げるプランニングは)。

**答** 返礼率が30%以下になり、極端に下がったと思う。返礼品の検討とともに広報、PRをして金額を上げていきたい。

**問** ゴルフ場利用率のリンク付けは。

**答** 1〜12級があります。町内は12級400円〜7級750円です。

**問** 財産運用収入未済額は。

**答** 土地貸付1件。石塚米沢公園隣の2万88円が3年間収入未済です。

(特別会計)  
・質疑はありませんでした。

### 歳出

(一般会計所管分)

**問** 桂老人福祉センター施設の今後はどうのように考えているのか。

**答** 現在、草刈委託管理料を支払っています。今後については検討して行きます。

**問** ふるさと応援寄附金事業内容について(経費分を除いてどのぐらいのプラスか)。

**答** 歳入から歳出を引くとプラスで50万円です。



**問** 七会町民センターの植栽管理の場所は。

**答** 町民センターオープンに向け、一か月植栽を管理しました。

**問** 閉校中学校除草工事について

**答** 5〜7月と8〜10月の2回、笠間西茨城森林組

合が行っています。

**問** 防災行政無線について（常北地区と桂地区の個別無線機については）。

**答** 常北地区は製造中止のため配付しておりません。桂地区については在庫分のみ配付しています。

**問** 介護・福祉・医療等事業所連携強化事業の利用は。

**答** 町は月3万円の補助で、昨年度は2名利用しています。

**問** 次世代育成支援金支給事業の周知方法は。滞納者への支給は。

**答** 出生届提出の際に案内を配布しています。滞納者への支給はしていません。

**問** 敬老事業の継続に疑問を感じないのか。若い町長なのだから違う事業として転換しても良いのでは。

**答** 近隣の状況を調査し、町長と検討していきたい。



（国民健康保険特別会計）

**問** 医療用衛生材料費・諸検査委託費の不用額について。

**答** 毎年、一月時点で予算化しているため、結果的に多めに不用額が生まれました。

**問** 特定健康診査事業等事業の受診率について。

**答** 県内では、受診率現在2位で推移しています。

**問** 人間ドック等健診事業の病院指定について。

**答** 補助の定員300名の受け入れと検査内容的受け入れ、病院の都合により現在の6カ所の医療機関で対応しています。

（後期高齢者医療特別会計）

**問** 後期高齢者医療健康診断事業追加健診減額措置について。

**答** 広域連合で行なっている健診事業が平成32年度に廃止になつてしまうので、町としてどうするか今後検討していきます。

## 教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の10月12日に委員会を開催し、平成29年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の決算について審査しました。審査の結果、委員会の採決は認定となりました。



教育産業常任委員会の審議状況

## 歳入

（一般会計所管分）

**問** 河川愛護事業補助金が増えている理由は。

**答** その年度支払った分の補助になるので、予算額より増えています。

**問** 学校給食費過年度分の未済額が多い。今後も入らないのでは。

**答** 現在は、無料になり今通っている児童生徒での滞納はありません。過年度分の未納分の処理については今後考えていきます。

二の足を踏むようだが、会費等の補助はないのか。

**答** 実施隊に入れば免除になるものもあります。

**問** 機械器具購入について（ミニシヨベルを購入したようだが職員が操作するのか）。

**答** グレーダーが年数経過し使いづらく、災害等で細い道にも対応できるため購入しました。職員が操作します。

**問** 要保護・準要保護援助児童・生徒就学支援事業の対象者数について。

**答** 要保護3名、準要保護55名です。

（公共下水道事業特別会計）

・質疑はありませんでした。

（農業集落排水事業特別会計）

・質疑はありませんでした。

（水道事業会計）

**問** 岩船第二加圧機場修理工事及び岩船浄水場改修工事は終了したのか。

**答** 本年度外構工事を行い、年内完成予定です。

**問** 水利権の金額は。

**答** 権利のみで金額は支払っておりません。

## 歳出

（一般会計所管分）

**問** 河川愛護事業補助金は何人に補助したのか。

**答** 延500人です。

**問** 畜産クラスター協議会補助（繰越）は町の持ち出しはないのか。

**答** 国2分の1の補助で、町の持ち出しはゼロです。

**問** 狩猟免許取得後の会費等の負担が多く、免許取得に

# 第3回定例会で決まったこと

## 専決処分

### 承認

▽専決処分第3号平成30年度城里町介護保険特別会計補正予算第1号の承認を求めることについて

保健事業勘定  
追加補正額  
355万5千円

予算総額  
21億2,193万6千円

## 条例改正

### 可決

▽城里町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正

(城里町放課後児童クラブ施設整備検討委員会及び城里町町営住宅建替事業検討委員会を設置することに伴い、委員等の報酬について規定するもの)

## 補正予算

### 可決

▽城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正

(住所地特例の追加や控除対象配偶者を同一生計配偶者に改正するもの)

▽城里町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正

(許認可申請の範囲、事業主等の責務事項、欠格要件の規定を明確にするもの)

## 契約の締結

### 可決

▽平成30年度コミュニティセンター城里空調設備改修工事

契約金額

8,614万800円

契約の相手方

暁飯島工業 株式会社

## 決算認定

### 認定

▽平成29年度城里町一般会計決算認定について

▽平成29年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について

▽平成29年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について

▽平成29年度城里町介護保険特別会計決算認定について

▽平成29年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定について

▽平成29年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定について

▽平成29年度城里町水道事業特別会計決算認定について

▽平成29年度城里町水道事業特別会計決算認定について

▽平成29年度城里町水道事業特別会計決算認定について

付託し、常任委員会とともに所管分を審議した結果、認定しました。(詳細は、6〜7ページ。)

## 請願

### 採択

▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

### 継続審査

▽主要農作物種子法の復活等を求める請願

## 陳情

### 継続審査

▽緊急車両が通行できない町道の整備についての陳情

## 発議

### 可決

▽教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣へ意見書を提出しました。

追加補正額  
457万1千円

予算総額  
2億8,108万3千円

追加補正額  
1,191万4千円

予算総額  
21億3,385万円

追加補正額  
1,841万5千円

予算総額  
8億5,336万7千円

追加補正額  
96億5,757万8千円

予算総額  
96億5,757万8千円

追加補正額  
1,191万4千円

予算総額  
21億2,193万6千円

追加補正額  
457万1千円

予算総額  
2億8,108万3千円

## 審議した議案と各議員の賛否

第3回定例会の議案等の表決を、賛成は○、反対を×、欠席は-で表示してあります。

議案名	桜井和子	加藤木直	猿田正純	藤咲芙美子	片岡藏之	藺部一	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	阿久津則男	小林祥宏	杉山清	鯉淵秀雄	小坪孝
専決処分第3号(平成30年度城里町介護保険特別会計補正予算第1号)の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
城里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
城里町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度城里町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度城里町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度城里町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度城里町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度城里町一般会計決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
平成29年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度城里町介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度城里町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長のため採決に加わっていない

## 議会を傍聴しましょう!

次回の定例会は12月4日を予定しております

傍聴者報告  
第3回定例会  
(10月10日~19日まで開催) 24人



車いすでの傍聴も出来ます。

日程など詳しいことは議会事務局またはホームページでご確認ください。

TEL. 029-288-3111 (内線302) <http://www.town.shirosato.lg.jp>

# 一般質問

# 町政を問う

今回5名が質問し、  
その要約を掲載しました。

桜井和子議員 ..... 11

1. 小中学校のエアコン設置について
2. 「重いランドセル解消」の対策について
3. ランドセルの無償配布について

猿田正純議員 ..... 12

1. 公共下水道の進捗状況と今後の計画について
2. 町道2256号線拡張工事の要望書について
3. 常北小について

藤咲芙美子議員 ..... 13

1. 東海第二原発再稼働について
2. 病院建設について

加藤木直議員 ..... 14

1. 地域おこし協力隊について
2. 荒廃遊休農地について

河原井大介議員 ..... 15

1. 学校給食センターについて
2. 公共交通である路線バスについて
3. 倒木処理について
4. イノシシ対策について

🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の  
寄稿によるものです。



さくらい かずこ 議員  
桜井 和子

# 小中学校のエアコン設置 について

《町長》本年度内に工事発注をするよう努力する。

**桜井** 補正予算に設計費が計上されたが、来年の夏に間に合うか伺う。

**町長** 暑くなる前に、小中学校全てにエアコンの設置を完了させるため、教育委員会と協議し予算編成の指示をした。設置の今後の予定は、11月にエアコンの実設計を発注したい。工事費の予算は、12月の議会で補正予算を計上し、本年度内に工事発注をするよう努力する。

**桜井** 費用の面、工事期間の面から、どのような様式で設置するのか伺う。

**町長** 各教室個別にルームエアコンを設置する方式が最も効率が良いと考えている。設計者の意見も聞き、設置工事を最優先の設計にしていく。



「重いランドセル解消」の対策について

《教育長》  
毎月の町校長会で協議し、適切に対応していく。

**桜井** ゆとり教育からの転換により、教科書は分厚くなり副教材なども多様化。子どものランドセルが重すぎ、成長途上の児童の体に過剰な負担がかかっている。と懸念の声が上がりに、文科省は、全国の教育委員会に、対策を検討する様、通知したと聞いている。町の現状を伺う。

**教育長** 家庭科、音楽、道徳の教科書、絵の具、楽器等は常時学校に置いておく。翌日の授業に支障が無い科目は学校に置いておく所もあるが、主要科目の教科書は原則持ち帰っている。習字道具など習い事をしている児童は、個人の判断で持ち帰るなど、本町5校全ての学校で実施している。

今後の対策については、低学年の登下校に負担にならないよう、毎月の町校長会で協議し適切に対応していく。



ランドセルの無償配布について

《町長》  
一つの検討課題としていきたい。

**桜井** 入学準備に欠かせないランドセル。オリジナルの軽いランドセルをプレゼントすることはできないか伺う。

**町長** ランドセルの無償配布について、今後の課題として、来年度予算の編成に向けて、一つの検討課題としていきたい。



ランドセルの中にはたくさんの教科書が

# 公共下水道の進捗状況と今後の計画について



さるた まさすみ 議員  
猿田 正純

《町長》下水道審議会の答申をいただいたので、事業を推進したい。

**猿田** 公共下水道の進捗状況と今後の整備計画は。

**町長** 那珂久慈流域公共下水道は、昨年度末までに356ヘクタールが整備され、処理区域内の7,565人の方が下水道利用可能となった。

増井一区の整備は、4年間で整備目標の約9割が進捗した。

昨年度、下水道審議会に整備のあり方を諮問し、増井地区の未整備区域及び磯野地区を新たに下水道計画区域に含めるべきと本年2月に答申をいただいたので事業を推進したい。

**猿田** これからの予定は。

**町長** 現在は、増井二区・磯野区までの整備を目指す。増井二区までの整備目標を平成35年と定め、

次に磯野区に入る予定。来年度から増井一区の未整備区域、それから増井二区に向けて2,170メートルの下水道整備を行う。

## 町道2256号線拡張工事の要望書について

《町長》ガードレールを設置しているところと考えている。

**猿田** 町道2256号線県道石塚石岡線の関根地区から小松寺までの道路について区長から要望があったが、その道路の危険性について町はどう思われるか。

**町長** 安全性を高めるためにガードレールを数十メートル設置しているところと考えている。

**猿田** ふれあいの里、ホルルの湯への近道として交通量が増えている。公共施設利用道路で事故が起こる前に対策をお願いしたい。



常北小について  
(学童保育の環境が悪いと見受けられるが)

《町長》  
検討委員会を立ち上げ環境改善を図る。

**猿田** 常北小学校は教職員用のトイレがありません。町の考えは。

**町長** 常北小学校舎は昭和59年に新築され、建設当初から職員用トイレはなかった。私も学校で確認した。トイレの適切な設置場所や可能な施工方法も含め、設置に向けて前向きに検討する。

**猿田** 学童保育の環境が悪いと見受けられるが、検討委員会の立ち上げの進め方は。

**町長** 常北小は2階の図書室で運営。

石塚小も老朽化。放課後児童クラブ施設整備検討委員会を立ち上げる。議会・住民・有識者等で構成、環境改善を図る。並行して、保護者と運営主体・各小学校とも調整をし、放課後の児童の活発な活動、保護者の安心につながる運営に努める。



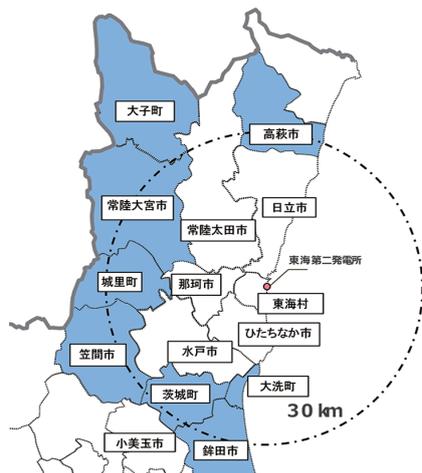


藤咲 芙美子 議員

# 東海第二原発再稼働について

《町長》 住民の意見をしっかりと映す市町村長として、しっかりと受け止め反対を表明する。

藤咲 東海第二原発安全対策首長会議で30キロ圏内の8自治体が、協定によって再稼働や新施設の増設など重要事項について意見を述べる権利をもてる協定を結ぶことに合意との報道があった。東海第二原発は福島第一原発と同じ沸騰水型炉で11月に耐用年数40年を迎える老朽原発。30キロ圏内には96万人が暮らしている。過酷な事故を起こした場合は想定も



つかないほど困難を引き起こす。福島県民の6万人余が今でも避難生活を余儀なくされている。

東海第二原発再稼働の必然性はない。電力も足りている。住民を守るため廃炉に向け町長の反対表明の決断を求める。

町長 再稼働についてどう考えるか聞いてどう考えれば、再稼働には反対すると答える。町民が再稼働に賛成しているとは思えない。住民の意見をしっかりと映す市町村長としてしっかりと受け止め反対を表明する。

## 病院建設について

《町長》 民間の医療機関の誘致を目指したい。

藤咲 まちづくり

の根幹は安心安全の確保である。医療施設のない町は考えられない。旧石塚駅前の人通りも絶え、シヤッター通り化している状況は深刻だ。身近な医療機関の建設を求める。

藤咲 まちづくり

ける施設のある病院が必要である。

町長 茨城県の地域医療構想において、平成30年4月から診療所の範囲を見直すとともに、病床設置の医療計画への記載が不要とされた。そのための条件は7つのうちいずれかの機能をもつ医療機関である。在宅療養支援診療所の機能や急変時の入院患者の受け入れ機能、患者からの電話に常時対応

できる機能、在宅介護への受け渡し機能他、新たな規制緩和の制度の活用も検討しながら民間の医療機関の誘致を目指したい。

多くの町民が求めているのは、入院施設があり、夜間救急も対応できる小児からお年寄りまでの病気がやがにに対応ができる病院である。町民の話を聞いてきたが、みなさん同じ要望をもっていった。地域に根差した地域の住民が安心して暮らせるような入院施設、病気がやがにに対応



# 地域おこし協力隊について



加藤木 直 議員

《町長》 今後の採用は、就農が見込めるようになった後、検討したい。

**加藤木** 地域おこし協力隊受け入れ時の要件審査はどのようなか。また、研修先の調整や第三者継承部門の町への関わり方はどのようになるのか。今後の受け入れ計画はあるのか。

が、この地域の伝統ある和牛の灯を消さないためにも、手厚い支援の出来る政策が必要だ。第二第三の和牛の新規就農に期待する。また、今後の隊員受け入れについても前向きに検討いただきたい。

**町長** 都市部より人材を誘致し、書類審査面接により採用を決定、研修先は担当及び協力隊が調整を行なっている。

**町長** 城里町にとって、和牛生産は重要な農業ブランドだ。和牛新規就農者が定着する様努力したい。また、協力隊の継続的受け入れは重要だと思ふ。受け入れ側の体制強化についても検討する。

今後の受け入れについては、確実に就農が見込めるようになった後、検討したい。

**加藤木** 第三者継承部門に和牛志望者が一名いる

梨園の継承を目指す染矢協力隊員



梨園の継承を目指す染矢協力隊員

## 荒廃遊休農地について

《町長》

農業委員・推進員の意見を聞き、検討したい。

**加藤木** 荒廃遊休農地が増え、有効な利用実績はあるのか。また、改正農業委員会法が施行され、耕作放棄地の解消にどのような効果が出ているのか。

**町長** 遊休農地解消のための県補助が最終年になるが、農業委員会と連絡を密にし、対策を進めていく。また、改正農業委員会法による質問だが、那珂西地区の一部をモデル地区として畑の集積を行なっている。新たに設置された推進員制度の効果であると思ふ。さらに農地の集積・集約が加速することを期待したい。



**加藤木** 遊休農地解消の県補助が最終年の事だが、町単独での補助制度を検討いただきたい。また、農業委員の選任、推進委員の委嘱はどのようなにしているのか。

**町長** 遊休農地解消のあり方について、農業委員、推進員の意見を聞き、検討したい。

**農業委員会事務局長** 農業委員及び推進員の選任・委嘱については、委員募集要項を策定し、広く町内より募集した。

農業委員及び推進員の選任・委嘱については、委員募集要項を策定し、広く町内より募集した。



かわらい だいすけ  
河原井 大介 議員

# 学校給食センターについて (調理職員の適正な人員配置を)

《町長》 欠員解消に向け早急に取り組む。

**河原井** 城里町給食完全無料化で注目されている中で、給食センターの調理現場の実情として、夏場40℃湿度90%。冬場では3℃位の中で懸命に給食の調理をされている。具体的に調理職員の適正な人員の配置と確保、労働環境の改善、老朽化(20年経過)している調理器具の入れ替え、食物アレルギーに対するの対応は。

**町長** 現在、常北給食センター一施設で調理、配送している。エアコンの無い調理現場で調理員が過酷な労働環境で仕事をしていたことは、事実である。今回、調理室のエアコン設置の為、補正予算を計上した。

ご指摘のように調理員2名が不足している。欠員解消に向け早急に取り組むとともに賃金見直しを  
検討する。また、老朽化した調理器具について、計画的に更新していく。  
アレルギー対応については、新年度開始時に、保護者と個別面談し、学校や医  
療機関の指導を受け対応している。



## 公共交通である路線バスについて (石塚小前の駐輪場の整備をしてみても)

《町長》  
駐輪車両が増えるようであれば整備を検討する。

**河原井** バスの利用増について、現在、石塚小学校の近隣の道路の拡幅工事に合わせて、利用者の多い石塚小前の駐輪場整備をしてはどうか。また、高齢者の免許自主返納にあたり何らかの支援策が必要では。

**町長** 駐輪車両が今後も増えるようであれば整備を検討する。高齢者の免許自主返納支援策は、バス乗車券やデマンドタクシー利用券を一回限り支給している。



## 倒木処理について

《町長》  
過去の経験により対応している。

**河原井** 昨今の自然災害、台風等による倒木による被害の箇所や過去に倒木の対応した箇所については、役場庁内全体で常に把握できるように情報のデータベータ化が必要では。また、森林機能回復整備事業(茨城県補助制度)の活用を提案したい。

## イノシシ対策について

《町長》  
有害鳥獣駆除隊のメンバーと相談しながら補助金を充実していく。

**河原井** 昨今、全国的にイノシシ等の被害が増加しているが、那珂西地区や、桂小學校等、民家の庭にまで出没する中で喫緊の課題として議論が必要であると思う。具体的な有害鳥獣被害対策実施隊に対して、充実した支援策(弾薬、ガソリン代等)への補助金の交付)の検討が必要では。

# 七会中跡地利用に関する調査特別委員会中間報告

本委員会は、七会中跡地利用に関する「業務契約に関する事項」及び「スポーツ振興くじ助成金に関する事項」について調査することを目的に、平成30年6月臨時会において設置されました。地方自治法第100条の規定に基づく権限を議会から委任され、今回の疑義が生じた原因を調査し、真相を明らかにするとともに、再発防止に向けた検討を行っています。



委員長	関 誠一郎	委員	藤咲芙美子
副委員長	河原井大介	〃	加藤木 直
委員	阿久津則男	〃	桜井 和子
〃	菌部 一		

委員会設置後、12回にわたり会議を開催いたしました。

まず、平成30年6月27日に開催した臨時議会中の第1回委員会では、正副委員長決定。そして同日の議会終了後に委員会の進め方等を話し合い、その後、証人喚問2回を含み、計12回の委員会を開催しております。

現在までの調査に基づき、本委員会として事実と確認できる事項は、以下のとおりです。

- ①平成29年6月の第2回定例会で、阿久津議員が「グラウンドの維持管理費が1,500万円という事だがこれでできるのか？」と質問し、上遠野町長は「出来ます。1,500万円で出来る見積もりも存在する」と答弁した。町長に対する証人喚問時に、その見積もりを求めると、「私は持っていません。1,500万円で委託しているところがあるんですから、日本のどこかには存在するんじゃないですか？」との証言があった。
- ②グラウンドの維持管理は、税抜き2,300万円、税込みで2,484万円という金額で1者随契にて奥野谷浜産業株式会社に契約された。
- ③1者随契を決定した『指名選考委員会』において、『この委託業務はJ1仕様の「特殊な芝」で「特殊な技術者が必要」であると説明していたが、入札当時その技術者は奥野谷浜産業株式会社に不在であり、町担当者はその事実を伏せて説明を行っていた。(無資格業者であった。)
- ④その特殊業務、特殊技術者と言っておきながら、技術資格を明確にしていなかった。これについて、町長は「具体的に必要な資格は無い」と証言している。
- ⑤11月に3者から予算用の見積もりを取ったと述べていましたが、仕様書(工事の内容)も示さず口頭で見積もり依頼をしていた。
- ⑥3者の見積もりが届く間に、「水戸ホーリーホック」から町に対し、お願いの文書が2通届いていた。  
11月24日の1通目は、『グラウンド管理費は1,500万円で、「水戸ホーリーホック」は使用料として500万円を支払う』との当初条件を、『町の1,500万円と使用料500万円を足して2,000万円にして下さい』と増額要請があった。  
11月29日の2通目は、『奥野谷浜産業株式会社を使ってください。奥野谷浜産業株式会社を使えば300万円上乘せします。使わなければ300万円の上乗せはしません。』とあり、さらに、『芝管理費は2,500万円になる予定ですので、町ではさらに200万円アップして下さい。』という内容であった。
- ⑦翌日、11月30日に、町から「水戸ホーリーホック」に対し、『有意義なご提案ありがとうございます。ご提案の通り、貴社より当初の500万円および追加の300万円の合計800万円をご負担いただいた上で、城里町および開発公社





## どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

### 図書館について

(平成28年9月)

### 質問

DVDの拡充等、利用者の要望を取り入れた図書館づくりを進めてはどうか。

### 県と町の人事交流について

(平成29年6月)

昨年まで職員を県に派遣していたが、本年はどうか。派遣後の職員の処理は。県との人事交流の考え方は。

### 陳列や展示の方法についても改善していく

コミュニティセンターの図書室に視聴覚資料が全くないので、新設したい陳列や展示の方法についても改善していく。

### 答弁

### 継続的に派遣したい

残業等で余裕が無い。出来れば継続的に派遣したい。派遣の終了した職員は知識、スキルが生かせる部署に配属している。

## 現在の状況は、こうなっています

### 今後も町民の要望を聞きながら視聴覚資料を揃えていく

コミュニティセンター城里的の図書室に平成28年度末においてお子さんを対象としたアニメやディズニーのDVDを中心に80枚を視聴覚資料として設置した。

現在、貸出可能なDVD(CD)は、113枚で年間延べ貸出数は、約1,500枚となっている。今後も町民の皆様のご要望をお聞きしながら視聴覚資料を揃えていく。

### 県との人事交流を推進して行きたい

平成27年度から県に派遣して、派遣終了した職員6名は、派遣先で学んだ知識等を生かし、現在業務の中心的な役割を担っている。

平成30年度からは2名を派遣しており、県からの権限移譲等により多様化・高度化する中で、業務の円滑化を図るため、県との人事交流を推進して行きたい。

## 編集後記

今年の冬至は十二月二十二日、この日は昼が最も短く夜が最も長くなる日です。風呂の湯にゆずを浮かせ、ゆずの香りがして、体が温まり、無病息災の効果があると信じて行われています。

私の家でも冬至の日には、ゆずを風呂に浮かせて入浴するのですが、いたずらにゆずを触っていると、ふやけたゆずが破けて、中身が浴槽の中でさあ大変。頭を洗うときはシャワーの方が良いと思います。

この日にカボチャと小豆の煮物(いとこ煮)を食べます。



栄養価の高いものを食べて、風邪やしもやけにならないようにと昔の人の知恵ですね。いとこ煮は、硬いものから順番に煮ていく料理で「追い煮る」と「甥々」を掛けた洒落でいとこ煮と呼ばれるようになったとか。お見事!!

### 議会広報委員会

委員長 阿久津 則男  
副委員長 三村 孝信  
委員 藤咲 芙美子  
猿田 正純  
加藤 井 和子

加藤 直記  
桜井 和子